

あなたの夢に、追い風を。

HAMAMATSU IWATA SHINKIN BANK



浜松いわた信用金庫の 気候変動の取組みについて

2023年1月19日
浜松いわた信用金庫

当金庫の現況

当金庫概況

あなたの夢に、追い風を。

浜松いわた信用金庫

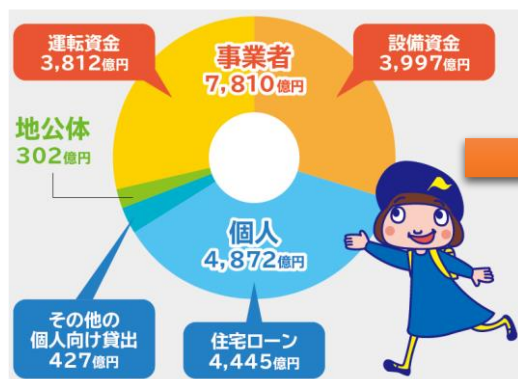
- 営業地域：静岡県西部及び愛知県東部の一部
- 創立：1950（昭和25）年
- 預金残高：2兆7,469億円（2022.9末）
- 貸出金残高：1兆3,137億円（2022.9末）
- 役職員数：1,774名（2022.9末、単体）
- 自己資本比率：13.57%（2022.9末、単体）
- 静岡県内シェア：およそ7%（＊1）

＊1：金融ジャーナル（金融ジャーナル社）より
静岡県西部地域に限れば、シェアは35～40%程度と思われる（当金庫における試算）

主な営業地域



貸出金の状況（2022.3末現在）



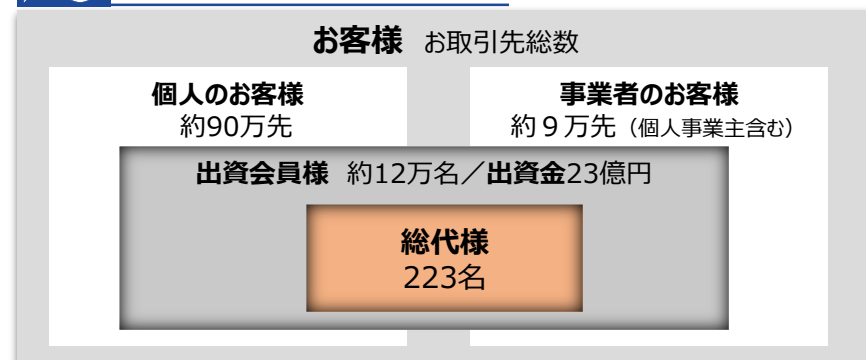
事業者向け貸出金の主な内訳

製造業	13.8%
建設業	5.8%
卸売業・小売業	7.5%
不動産業	16.5%
医療・福祉	4.1%
等	

◆主要産業である製造業を中心に、幅広い業種のお客様に資金を供給しています

2022.3末現在

出資会員及び総代の状況



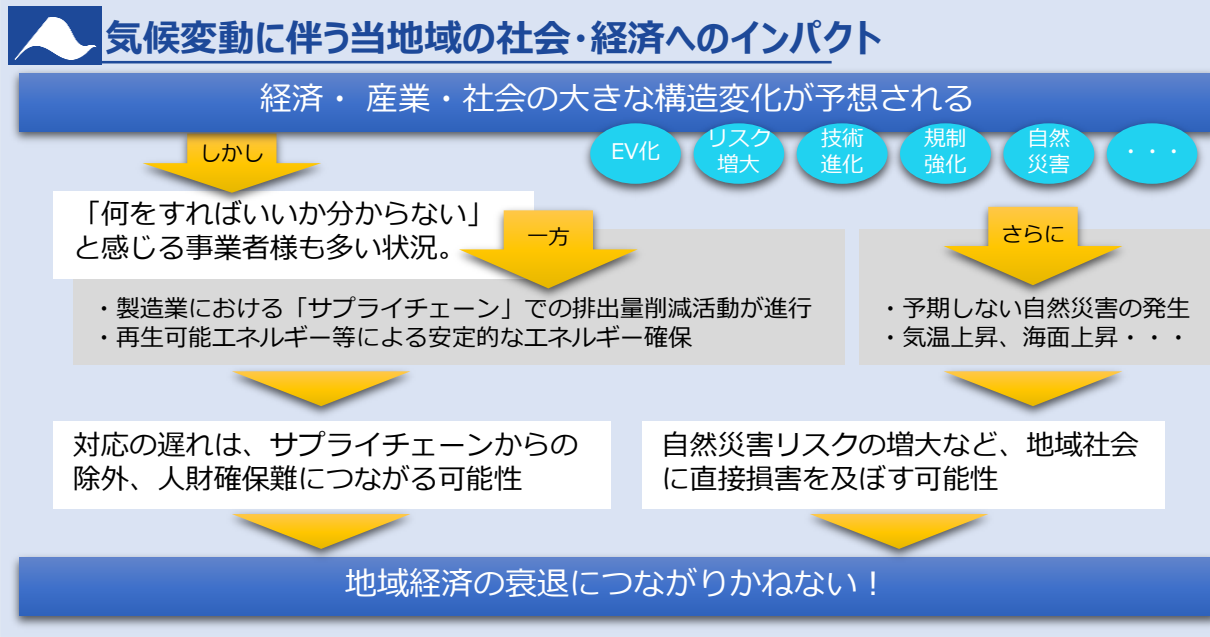
2022.3現在

地域における動向

気候変動への対応、脱炭素化が地域社会・地域経済においても重要なテーマになっています

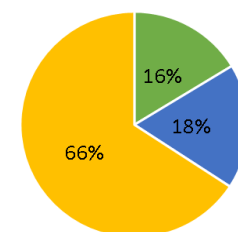
・お客さま、地域の皆さまの、気候変動・脱炭素化に向けた具体的な取組を支援し、持続可能な地域として、後世に引き継いでいくことは、信用金庫の重要な使命です。

・気候変動・脱炭素化対応の必要性をお取引先に啓発し、具体的な経営行動を促しつつ、対応に必要な「ファイナンス・マッチング・コンサルティング」のニーズにしっかりお応えしてまいります。



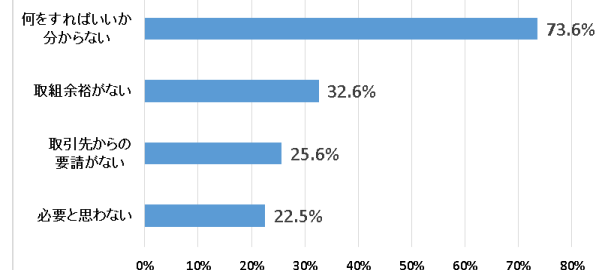
中小企業の脱炭素化に向けた取組に関するアンケート調査

カーボンニュートラルに向けた取組状況



■ 取組んでいる ■ 取組予定 ■ 取組んでいない

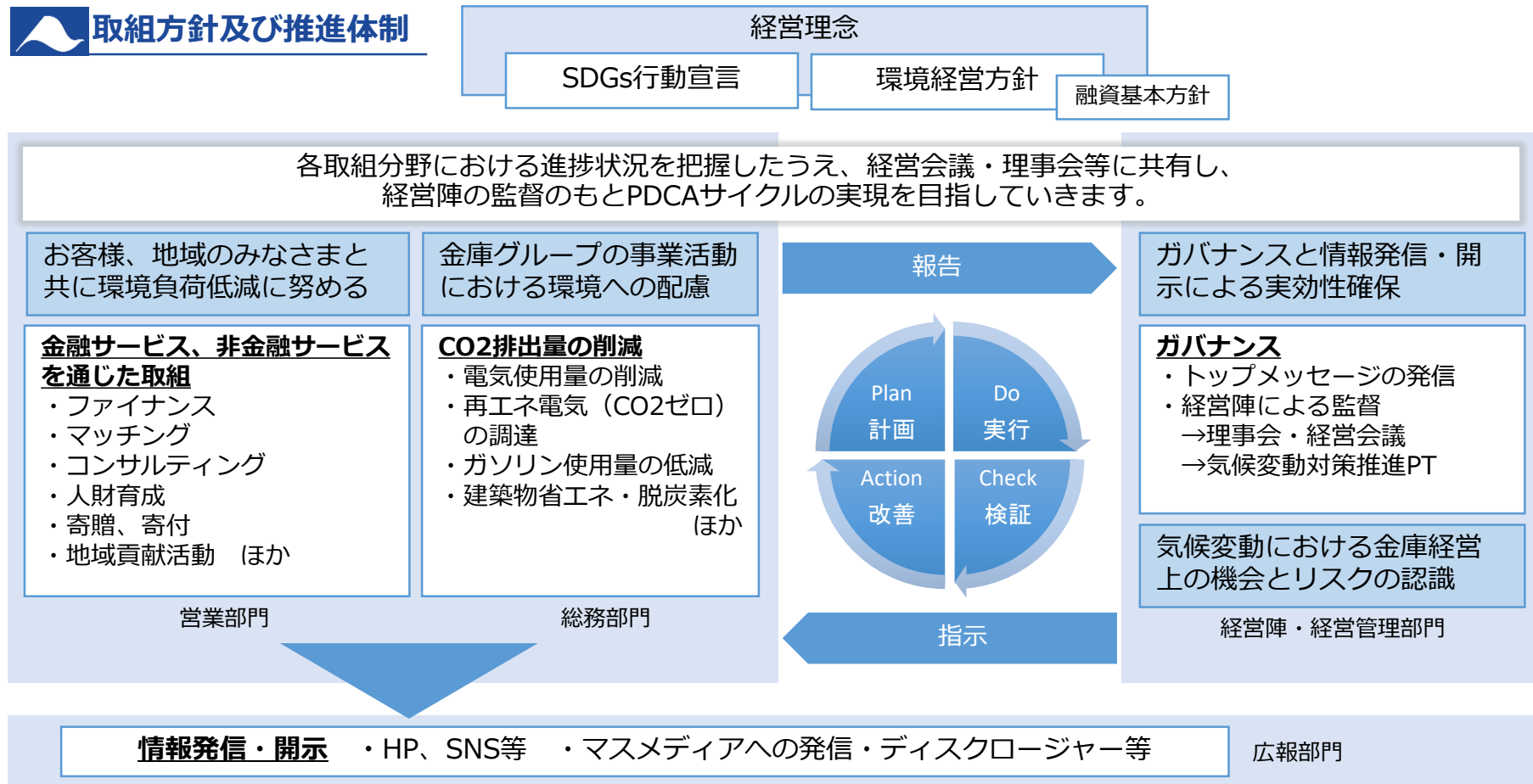
取組んでいない理由



・一般社団法人しんきん経済研究所が実施したカーボンニュートラルに関するアンケート調査
(2021年12月、静岡県西部の法人2,746社に対してメール配信によるアンケートを実施。
回答数196社、回答率7.1%)

当金庫の戦略と具体的な取組み：全体像と推進体制

脱炭素社会の実現に向け、環境課題の解決と地域の持続的発展に貢献していきます。



お客さま、地域のみなさまへの気候変動・脱炭素への支援

気候変動、脱炭素社会への取組みに際し、様々なニーズが拡がることを見込まれます。

- CSR（企業の社会的責任）として進めてきた「地域貢献活動」による貢献を基礎に、「ファイナンス」「コンサルティング」「マッチング」によるソリューション提供により、地域経済・社会の気候変動対応、脱炭素化の具体的な経営行動を促します。
- 当金庫も適正かつ安定的な収益を計上することにより、**持続可能な取組み・持続可能な金庫経営**につなげていきます。



金庫の「本業・事業活動」を通じた環境負荷低減、気候変動・脱炭素への貢献



コンサルティング
お客様の取組み加速
を支援する

ファイナンス
積極的な資金供給を
展開し、お客さまの
ニーズにお応えする

マッチング
脱炭素化に向け、
提携サービスをお客
さまへご紹介する



人財育成

お客様をご支援するための人財育成強化
・環境省と連携した環境経営促進モデル事業参加 等

情報提供、啓発活動

お客様への啓発と取組みの理解を促進
・情報発信 ・セミナー開催 等



CSR（企業の社会的責任）活動

寄贈、寄付による支援

- ・静岡県地球温暖化防止活動推進センターへの寄付金贈呈
- ・（公財）静岡県西部しんきん地域振興財団による助成活動 等

地域貢献活動

- ・地域環境の価値を高める「花のリレープロジェクト」
- ・環境教育への参画「アース・キッズチャレンジ」 等



当金庫の事業活動における環境への配慮

当金庫の事業活動におけるCO2排出量の削減に努めてまいります。

エネルギー使用量の削減

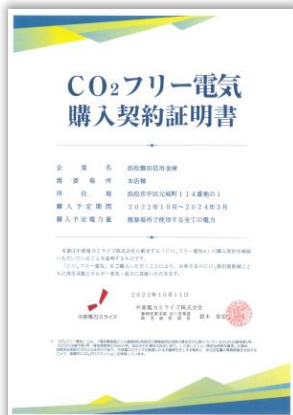
エネルギー使用量削減（電気関係）によるCO2排出量削減

- ・2013年度のCO2排出量を基準として、2030年度までに46%の削減を目指します。

再生可能エネルギーの調達

再エネ電気（CO2ゼロ）の調達によるCO2排出量の削減

- ・2022年10月オープンの新本店棟において使用する電力を、再生可能エネルギーを利用した電力で調達し、実質的なCO2排出量の削減に努めます。



オープン：本店棟2022年10月／本部棟2023年秋（予定）

ガソリン使用量の低減

ガソリン使用量の低減によるCO2排出量の削減

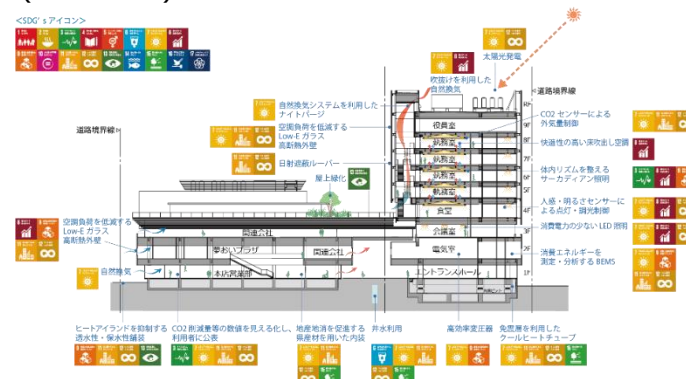
- ・2030年度までに、電気自動車や電動バイクの導入を進め、CO2排出量の低減を目指します。

建築物におけるCO2排出量の低減

新本店営業部・本部棟の

「サステナブル建築物等先導事業」採択

- ・新本店棟・本部棟の多様な省エネ技術を採用する取組み、SDGsへの取組みが高く評価され、国土交通省が実施するサステナブル建築物等先導事業(令和2年度)に採択されています。



TCFD提言への賛同、開示について

当金庫は、2022年9月にTCFD提言へ賛同し、気候変動リスク、機会に関する情報開示を進めていきます。

TCFD及び提言への賛同開示について

- 国際組織である「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）」提言へ賛同を表明するとともに、TCFD提言を踏まえた気候変動のリスク、機会に関する情報開示を充実させてまいります。
- SDGsを経営の根幹に据える当金庫としても、気候変動への対応は極めて重要な課題と認識し、TCFDの枠組みを活用しながら、気候変動対策に取り組んでまいります。

開示項目	項目の概要
ガバナンス	気候変動対応、脱炭素化に向けた当金庫の取組みの、経営陣による推進・監督体制
戦略	気候変動対応、脱炭素化を「機会」「リスク」の両面からとらえ、重要な経営課題として位置付け
リスク	気候変動に起因するリスクとして「移行リスク」「物理リスク」を認識し、継続的な管理方法の検討を開始
指標と目標	CO2排出量 2013年度対比 2030年度に▲46%とする サステナブルファイナンス実行額 2030年度までの累計実行額 1,750億円